

【組合】 市バス営業所における不祥事以降、職員の勤務労働条件にかかわることまで、一方的に当局主導での事業運営が進められていると感じている。本日は、我々が現在抱えている問題について、職員の労働条件を中心に申し入れを行いたい。当局の真摯な対応と回答を求める。

まず1点目は、駅掌について、この時期は時間外勤務がかなり発生しているため、時間外勤務を縮減できるような取り扱いを検討していただきたい。

次に、北神線乗務員の仮眠環境について、神戸電鉄の営業時間内は列車走行による振動が仮泊室に響くため、睡眠を阻害されると聞いている。安全確保の観点からも早期の改善を求める。また、北神線担当乗務員の勤務表について、西神山手線の勤務表と比較して休暇予備の頻度が高く、直前まで勤務が確定しないことにより、必要以上に休暇を取得する事態が懸念されている。こちらについても早急に改善策を講じるよう申し入れる。

続いて乗務員勤務表の掲示について、本来1月前に示される勤務表の掲示に常態的な遅れが生じているため、休暇の取得等に影響を与えている。期日までに貼り出すよう努めていただきたい。

次に、KOBEL2024 世界パラ陸上の開幕まで1か月を切っているが、未だ応援体制について情報が示されていないため、増発などの応援体制が必要なのか、現時点での情報を知らせていただきたい。

【当局】 1点目の時間外勤務縮減については、課題ととして受けとめ検討していく。

2点目について、まず状況の把握のため乗務員への確認を行いたいと考えているが、現在の仮泊室以外を確保するのは困難な状況であることはご理解いただきたい。防音・防振対策を施すなど、何らかの対策を検討していきたい。また、運用面で解決できる策などがあれば、提案していただきたい。

続いて北神線担当乗務員の勤務表における休暇予備の件について、現状の取り扱いは暫定的なものであり、この先も恒久的に続く取り扱いではないが、解消に向けた案を検討してまいりたい。

3点目の勤務表の掲示が遅れていることで、乗務員の皆様にご迷惑

をお掛けしたことについて、まずはお詫び申し上げたい。6月分の勤務表の掲示については、5月1日に貼り出しができる見込みであると聞いており、今後も極力遅れがないように努めていきたい。

次に、世界パラ陸上の応援体制について、現在把握している状況としては、一日あたり2千人前後の来場者数と聞いている。また、車いすをご利用のお客様については、当初の想定とは異なり、地下鉄をご利用になる方は少ないとのことであるため、現時点では、増発列車の運行を含めた特別な応援体制をとる予定はない。開催中は臨機に対応することを考えており、急遽の対応があればご協力をお願いしたい。

【組合】 北神線の件については、まだ直営化後間もないことから、今後も新たな問題の発生が懸念されている。現場職員の生の声を真摯に受け止め、改善に向けた取り組みを進めるようにしていただきたい。

【当局】 今後、どのような問題が発生するのか手探りの状態ではあるが、事前に予想できることについては、予め情報を共有し、解決策を検討していく。

【組合】 承知した。その他の勤務労働条件に関する申し入れについても改めて改善を求める。

【当局】 真摯に対応していく。